

平成 27 年度 学校評価実施報告書

学校番号 59

学校名 千葉県立柏中央高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①アレルギー、AEDの研修会を実施し教員の危機対応能力の向上を図った。体育施設の安全点検を毎月実施に改善、避難訓練も年2回とした。</p> <p>②ホームページをほぼ毎日更新し、学校の情報を積極的に発信した。日誌の記事数は今年度322点(昨年259)に増加、その他記事も例年並みの281点を掲載(1月末現在)した。紙媒体での広報範囲を今年度4町会(昨年1)に広げた。新規に県立学校開放講座2講座を実施し地域の参加者を得た。</p>	<p>①教員の危機対応能力の向上を目指す研修はより実践的な内容を盛り込んで企画する。また、安全点検が危機管理意識を持って行われるよう工夫する必要がある。生徒の危機対応能力に関する指導を更に進める必要がある。</p> <p>②引き続きホームページの頻繁の更新は続ける。部活動のページの更新が少ないので、定期的更新を行うようにする。保護者へのメール配信を更に活用し、またホームページから配付プリントを受け取れるようにするなど工夫する。近隣町会への紙媒体の広報内容を工夫する。</p>
学習指導	<p>①生徒による授業評価を年2回実施した。授業に関する教師への肯定評価の平均は87.2%(昨年86.5)で、特に「熱心に教えている」との回答率は94.5%(昨年94.0)であった。</p> <p>②今年度より英検を校内で実施し、延べ88名が受検した。各種補講、スコラ手帳やスタディサポートの利用を行っているが、学力向上の取組について、職員の肯定的評価は70.8%(昨年度70.2)と低かった。</p>	<p>①個々の教員の授業評価については、ばらつきがあるため教科全体で組織的な授業の向上に取り組む必要がある。また、生徒の家庭学習への取り組み評価が低く、授業を通じて家庭学習の機会を確保していく。</p> <p>②どのような力を伸ばすのか明確にし、アクティブラーニングなどテーマを絞った研修会や研究授業を実施する。また、生徒の実力に応じた補講等を設定し、進学のための学力を養成する。</p>
生徒指導	<p>①ルールやマナーを守る指導への肯定的評価が95.5%(昨年91.8)に上昇した。遅刻者が昨年より減少し、遅刻防止指導の効果が顕著である。(延べ遅刻数 1088(H26)→927(H27)1月末現在)また、自転車通学者の事故防止のため、登校時間を早める指導を強化した。</p> <p>②年2回の被害調査アンケートやその他のアンケートなどの様々な情報を教育相談委員会に集約し、カウンセラーと連携するきめ細かな対応・指導をした。</p>	<p>①来年度も校外外においてルールやマナーが守られるよう、家庭と協力しながら重点的に指導を続ける。また、SNSの不適切な利用やネット上のいじめについては、定期的な監視を続ける。</p> <p>②学校全体で情報共有が必要な生徒について積極的に情報交換し合う雰囲気高める。教育相談委員会の定期的開催とカウンセラーを活用した教育相談体制を充実させる。</p>
キャリア教育	<p>①勤労観、職業観の育成の取組に対する保護者の肯定的評価は75.4%(昨年71.6)とやや低かった。1年生徒のインターンシップ参加者は42名(昨年37)と横ばいであった。</p> <p>②例年通り進路ガイダンスに外部講師を招聘して計画通り実施した。(1年5回、2年4回、3年6回)</p>	<p>①キャリア教育に関係する行事内容の工夫や充実を図る。地域と連携してインターンシップの受け入れ先を拡大する。また、事前事後指導を充実し生徒のキャリア形成を図る。</p> <p>②各種ガイダンスについて保護者にも早めに広報し参加しやすい工夫を行う。外部講師を招いた進路ガイダンスについては保護者の積極的な参加を募る。</p>
特色ある教育活動	<p>①地域と連携した生徒のボランティア活動や地域行事への参加者数、部活動数が増加した。また、今年度より保護者も地域行事への参加が始まった。</p> <p>②福祉教育推進校としての地域との連携が強化された。より多くの一般職員の参加が課題である。</p> <p>③人権教育研究指定校として3回の講演会、道徳の時間での話し合い等を行った。</p>	<p>①地域と連携したインターンシップ、ボランティア活動などの一層の拡大、充実を図る。地域ボランティアの生徒への広報を工夫し、多くの生徒が参加できるようにする。</p> <p>②福祉教育推進校としての地域連携を継承するため、来年度より「高田地区ふるさと教育連絡会」を設置する。</p> <p>③人権に関するボランティア活動など体験活動を加え充実を図る。</p>

学校評価の公表について (手段・時期等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月、ホームページで公開する。 ・ 3月、学校だよりに印刷し配付する。
-------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<p>①生徒の安全・安心を図ることは最優先である。地域も防犯パトロール等を行っており、不審者情報等あれば地域も協力したい。校内美化について評価が低いので、生徒の清掃活動などにも力を入れて欲しい。</p> <p>②学校からの広報活動はよく行われている。ホームページに対し保護者の評価があるのは好感が持てる。生徒を介した連絡が家庭に届いていないようなので工夫して欲しい。</p>	<p>①職員の安全点検に対する意識も高め、安全点検を定期的・組織的に実施する。生徒の清掃活動を一層強化し、不要物の廃棄や施設の修繕も進め校内美化に取り組む。また、防犯、防災などについて地域と連携した取組を続ける。</p> <p>②ホームページの頻繁な更新を続けるが、特に部活動の情報更新を改善させる。学校からの配付物をHPからダウンロードできるようにするなどの工夫をする。</p>
学習指導	<p>①生徒の授業評価アンケートについて、授業に対する評価は概ね好ましい状況と言える。授業アンケートが授業改善に生かされるよう一部の項目の見直しが必要である。</p> <p>②授業評価アンケートにおいて、生徒の自主的、主体的な学習への取組が低いように思われる。家庭学習時間が少ないことも問題であるが、何をどのように学ばせていくか、生徒の実態に合わせて検討して欲しい。</p>	<p>①授業アンケートをより活用できるよう内容や方法について検討する。また、学校評価アンケートとの重複を避け内容を検討する。</p> <p>②従来より行われている様々な学力向上の取組について、より効果的な活用や内容の工夫が必要である。また、授業、補習、進路指導、面談などを通じ、生徒の意欲を喚起し、学校全体で学力向上に取り組むことが必要である。</p>
生徒指導	<p>①遅刻欠席の少ないことから、家庭での協力も含め、ルールやマナーを守る指導に学校全体で取り組んでいることが伺える。危機発生時に生徒自らが安全を確保する力など育てて欲しい。</p> <p>②家庭との連絡を密にアンケートや面談などにより生徒のきめ細かな把握は続けて欲しい。ストレスや困難に負けない心の育成も行なって欲しい。</p>	<p>①生徒自らがルールやマナーを守る意識を高める指導は継続する。生徒の危機管理能力を高める指導にも取り組み、特に1年生の生徒・保護者に対するSNS等の利用に関する指導・周知も必要である。</p> <p>②「被害調査」の確実な実施、面談や各種アンケートを通じて学校全体で生徒の実態把握を行う。教育相談委員会やカウンセラーを中心とした個々の生徒への対応とともに、職員の支援が必要な生徒への対応力、教育相談力を高めるため、職員の外部研修への参加も進める。</p>
キャリア教育	<p>①勤労観・職業観を育む取組は充実させて欲しい。幼稚園、小・中学校でのインターンシップは参加者も多いようなので、その他の分野の充実を検討して欲しい。</p> <p>②進路ガイダンスや保護者向け進路説明会に対し保護者の関心が高いので、広報や企画を工夫して欲しい。</p>	<p>①インターンシップの内容の充実を図り、インターンシップ参加者を増加させる。また、生徒のボランティアや体験活動への参加を促し、生徒に多様な体験の機会を与える。</p> <p>②ホームページ、連絡用メールを活用して保護者への周知に努める。保護者向け進路説明会についても3学年以外の企画を検討する。</p>
特色ある活動	<p>①今年度地域との連携は更に進み、地域行事への参加など感謝している。今後も地域との連携関係が続くことを望む。</p>	<p>①今後も地域での体験活動の場の拡大に努める。インターンシップ、人権教育の取組にも活用する。また、来年度発足する「高田地区ふるさと教育連絡会」を通じた地域連携を充実させる。</p>